

横断取り組みプロジェクト

本計画の実施期間内において取り組む施策について、それぞれの施策では十分に効果を上げることが難しく、施策横断的に取り組むことが必要と考えます。そこで5つの取り組みについて「横断取り組みプロジェクト」と位置づけ、優先的・重点的に取り組むことで、他の施策等を牽引し、計画全体の実効性を高めていきます。

A 伝統産業を守りつつ 新たな産業と担い手が息づく まちづくり（働く場の確保と人材育成等）

上松町は、農林業を主要産業として発展してきた町であり、特に林業に関しては、檜を利用した伝統工芸品を始めとして、様々な木工産業が根付いています。これら伝統産業を守りつつ、新たな産業を創出させることは、地域の活力の創出に繋がります。さらに、産業の発展は様々な人の働く場の創出に併せ、多様化するライフスタイルやワークスタイルにも対応することができます。一方、伝統産業を維持していくためには、新たな担い手の育成も重要です。

そのために伝統産業を守りつつ、新たな産業と担い手が息づくまちづくりを推進します。

B 住み続けたい・住んでみたい、帰りたい 選ばれるまちづくり（交流・移住・定住対策）

人口減少の要因のひとつに人口の流出が挙げられています。特に若い世代の流出が見られます。若者が住み続けたくない理由の多くは、「雇用問題－就職場所がない、長距離通勤」「将来性－将来が心配、不安、設計が立たない」とされています。また、人口減少を抑制し活力あるまちづくりを進めるには、若者の定住や帰郷、移住を促進することが必要です。

そのために住み続けたい・住んでみたい、帰りたい、選ばれるまちづくりを推進します。

C 安心して子育てができるまちづくり（結婚から子育てまで継続する少子化対策等）

町では少子化が進行し、近年では1年間に産まれる子どもの数は、10人前後まで減少しています。町の活力を維持・向上させるために、少子化対策が急務です。

そのために安心して産み育てることのできるまちづくりを推進します。

D 一人ひとりが生き生きと暮らし続けるまちづくり（地域福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、防災・減災対策等）

日本全体で高齢化が進むなか、町では全国より速いペースで高齢化が進展しています。そのため、高齢者のみの世帯、独居の高齢者世帯が増加し、様々な支援が必要となっています。また、特別な支援が必要な町民もいます。住み慣れた地域で自分らしく生活し続けることは、町民誰もの願いです。

そのために一人ひとりが生き生きと暮らし続けるまちづくりを推進します。

E 快適に安心して暮らし続けられる まちづくり（環境保全、デジタルトランスフォーメーション（D X）の推進等）

町の自然環境は「選ばれるまちづくり」を進める重要な要素でもあり、町民共有の財産で、後世に引き継ぐべきものです。

また、近年取り組みが始まったデジタルトランスフォーメーション（D X）は、「進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること」であり、高齢化や少子化等による就業者の減少への対応として取り組むことが必要です。

今後も、快適に安心して暮らし続けられるまちづくりに取り組みます。

第6次上松町総合計画（概要版）

発行日：2021年（令和3年）6月

発行者：上松町役場

〒399-5601 長野県木曾郡上松町大字上松159番地4

TEL 0264-52-2001（代表）FAX 0264-52-1038

ホームページ <http://www.town.agematsu.nagano.jp/>

Eメール agematsu@town.agematsu.nagano.jp

第6次上松町総合計画（概要版） 新しい時代にいのち輝き笑顔あふれる“あげまつ”

計画策定の趣旨

上松町では、2011年度（平成23年度）を初年度に、2020年度（令和2年度）を目標年度に総合的な町政運営の指針となる第5次上松町総合計画に基づき様々な施策を展開してきました。

この間、2014年（平成26年）3月に国道19号栈改良の完成・供用開始、役場庁舎の建設、移住・定住への取り組み、企業誘致、上松町総合戦略に基づく少子化対策、人口減少対策、雇用の創出等を行ってきました。一方、町の主要産業である製造業の停滞、「木曾ヒノキブランド」に支えられた林業の低迷、御嶽山噴火の影響を受けた観光業の低迷、少子高齢化のさらなる進展、若者の町外流出等、課題は山積しています。

このような状況を打開し、持続可能なまちづくりを総合的、計画的に進め、新たな時代にふさわしい町づくりを推進していくため、その方向性や方策を明らかにするものです。

計画の構成と期間

総合計画は、基本構想、基本計画及び実施計画により構成されます。

1. 基本構想

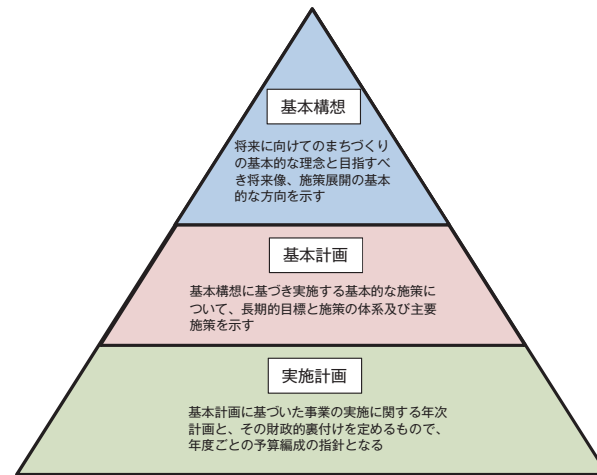
基本構想は、まちづくりの基本理念・将来像を掲げ、これらを実現するまちづくりの基本目標を示すものです。2021年度（令和3年度）を初年度とし2030年度（令和12年度）を目標年次とする10年間の計画です。

2. 基本計画

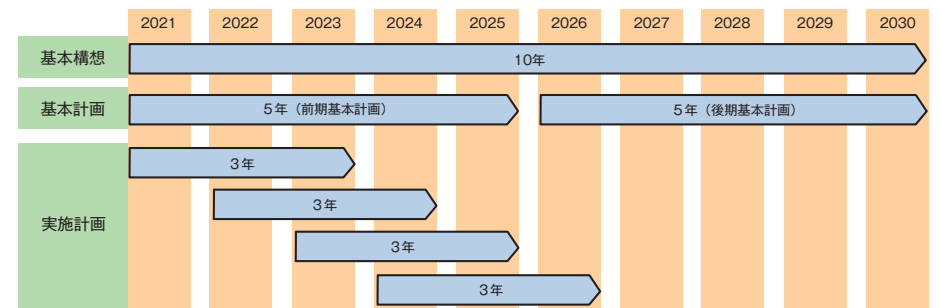
基本計画は、基本構想で示したまちづくりの基本目標を実現するため、行政の各分野の現状と課題、施策の内容を具体的に示すものであり、実施計画の基礎とするものです。前期基本計画は2021年度（令和3年度）を初年度とし、2025年度（令和7年度）を目標年度とし、後期基本計画は2026年度（令和8年度）を初年度とし、2030年度（令和12年度）を目標年度とします。

3. 実施計画

実施計画は、基本計画で定めた基本的施策をより効果的に実施するため、財政的な検討も加え、施策・事業を3ヵ年計画として示すものです。毎年度その内容を見直し、補正を加え毎年度の予算に反映していきます。



総合計画の構成



基本構想・基本計画・実施計画の関係

目指すべきまちの姿

1. 一人ひとりのいのちが輝く 笑顔あふれる “あげまつ”

平均寿命が延伸するなか、健やかに生き生きと暮らし続けることは、誰もの願いです。また、豊かな生活を送るためには、健やかな子どもを育てるための支援や学校での学び、それぞれが目標を持って生涯学習し続けその学びを地域に還元することも必要です。町民一人ひとりの生活への支援や学びの機会の提供が課題です。そこで、「一人ひとりのいのちが輝く 笑顔あふれる “あげまつ”」を目指します。

2. 地域の自然と 人の心にやさしい “あげまつ”

町には、豊かな自然や森林、様々な観光メニユーなど多くの地域資源があります。また、上松町の人は、おもてなしの心を大切にし、誰にでも優しく接することができます。これら地域の自然や人の優しさを観光や上下流交流に役立てていくことが課題です。また、地域の財産でもある自然を守るための取り組みも課題です。そこで、「地域の自然と 人の心にやさしい “あげまつ”」を目指します。

3. 地域とともに歩む 魅力ある産業が息づく “あげまつ”

町内には、自然環境や豊かな森林などの地域資源を活かした産業が多く見られます。一方、農林業の後継者不足、商工業の衰退なども見られます。今後、持続可能なまちづくりを行うためには、これら産業の活性化が課題です。そこで、「地域とともに歩む 魅力ある産業が息づく “あげまつ”」を目指します。

4. 安全・安心で快適な 生活基盤に支えられた “あげまつ”

日々の生活を安全に安心して暮らし続けることは、町民誰もが望むことです。そのためには、様々な社会基盤が整い、また、防災、防犯も十分な町であることが求められています。町民誰もが安全で、安心して快適に暮らし続けるための取り組みが課題です。そこで、「安全・安心で快適な生活基盤に支えられた “あげまつ”」を目指します。

5. 町民への行政サービスを 持続することのできる “あげまつ”

近年、厳しい財政状況のなかでも、町民の生活の質の向上に向けた取り組みが行われています。今後、さらなる少子高齢化の進展やより厳しい財政状況が予想されており、行政サービスの質の維持が課題です。そこで、「町民への行政サービスを持続することのできる “あげまつ”」を目指します。

基本目標と目指すべき方向

1. 健やかに生き生きと暮らすまちづくり

全ての町民が、生涯を通じて自分らしく健やかに生き生きと暮らし続けることのできるまちを目指します。

2. 地域で育て、地域を育てるひとづくり

町の将来には「人」が重要であり、郷土愛の醸成と併せてその「人」を地域で育て、その「人」により地域を育てることのできるまちを目指します。

3. 森林（もり）と共生する暮らしの交流

豊かな自然環境を象徴する「森林（もり）」と共生すると共に、「水」も含めた交流を促進します。

4. 地域の資源を活かした産業おこし

生活の維持、向上、地域振興のため、地域に残された様々な資源を活かした産業や時代のニーズに対応した産業の創出に取り組みます。

5. 快適生活を支える基盤整備

町民の快適な暮らしの実現のため、社会基盤の整備・維持・管理・修繕に取り組みます。

6. 安全・安心を支える暮らしの礎づくり

誰もが住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けるための暮らしの礎づくりに取り組みます。

7. 持続可能なまちづくり

町民がいつまでも暮らし続けることができるよう持続可能なまちづくりに取り組みます。

8. 住民参加と協働のまちづくり

町民一人ひとり、地域、企業、各種団体、行政等がそれぞれの役割を認識し、協働で住みよい「あげまつ」創りに取り組みます。

【上松町の将来像（キャッチフレーズ）】「新しい時代に いのち輝き笑顔あふれる “あげまつ”」 第 6 次 上 松 町 総 合 計 画

【基本理念】 悠久の大自然と森林（もり）が育む文化と歴史を守りつつ、新しい時代に向け一人ひとりの命を大切にし、だれもが住み続けたい、住んでみたい、帰りたい 選ばれる上松町を目指します。

